

連載

- 10 世界のキーパーソン
- 11 国内人情報
- 27 Book Reviewing Globe
- 40 テイレシアスの食卓——河井健司
- 42 大往生考
- 51 西風
- 59 交差点——読者の声・編集者の声



被災地での存在感は今回も希薄。膨大な補助金が注がれる組織は、今も厚労省OBが差配する利権の温床だ。元外務次官はこう吐き捨てる。「日赤への義援金は有効に使われない。酷いガバナンスだ」。(110頁)

- 98 社会・文化●情報カプセル
- 100 国交省とJAL「責任逃れ」の悪辣
- 102 増え続ける「読書時間ゼロ」の若者——思考力低下で衰退する社会
- 104 震災で「食料難」を繰り返す日本
- 106 備蓄監視 農水官僚の大罪
- 108 「新薬がない国」日本の近未来——創業敗戦「ドラッグロス」の悲劇
- 110 「能登人災」石川県の悪政——弛んだ保守王国と共犯「北國新聞」
- 110 日本赤十字社——能登地震で晒した「組織の腐敗」

- 80 金融の世紀——黒木亮
- 88 皇室の風——岩井克己
- 90 日本の科学アラカルト
- 92 新・大学評判記
- 94 本に遇う——河谷史夫
- 96 をんな千一夜——石井妙子
- 114 マスコミ業界ばなし

- 3 連載(巻頭インタビュー)待鳥聡史——平成政治改革の「大掃除」が急務

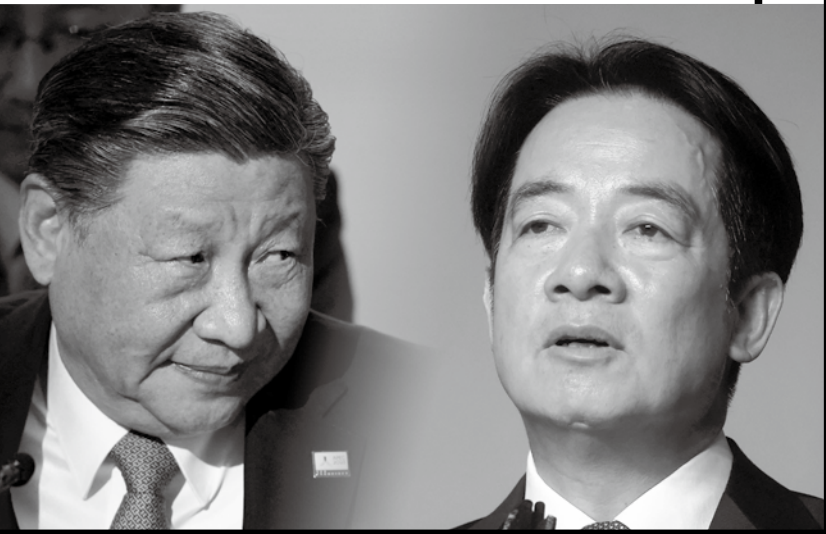
●特別リポート

台湾海峡波高し

——頼清徳の四年で何が起きるか

- 12 トランプ再登板を願う米経済界
- 14 フランスが真似る「日本式教育」——愛国心醸成「右傾化」の施策として
- 16 ウクライナ政権と軍部の内紛激化
- 18 WORLD●情報カプセル
- 22 エルサルバドル「独裁者」が大人気——超法規「治安改善」に貧者の喝采
- 24 インド洋覇権で中国の猛威
- 28 増える「親中国」と変わる勢力図
- 30 進化止まらぬロシア「サイバー攻撃」——ウクライナ最新被害と日本の危機
- 32 ロシアを蝕む「帰還兵問題」——戦争長期化でアフガンの「二の舞」
- 32 中東戦火「拡大」を望む米国
- 34 イエメン攻撃に潜む「邪念」
- 34 金正恩が策謀する「岸田籠絡」——拉致問題「首脳交渉」の甘い誘惑
- 36 中国経済統計「捏造」の新たな元——真実は想像以上に深刻
- 38 連載(現代史の言霊)二月の撤退——ソ連軍のアフガニスタン撤退(一九八九年)

民進党政権がさらに4年続くことで、日米台の有事への備えは強固さを増す。習近平はそれを座視しない。破滅的全面戦争以外の手段で、台湾の現状を変更しにかかるだろう。その時、日米はどうするか。(6頁)



「奇襲成功」。唐突な岸田派解散宣言で、党内権力構造は「液化化」。安倍派の崩壊と三頭体制の解体で、岸田はまさに「焼け太り」。その鈍感力で描く自らの延命策は、6月解散。都知事選挙とのダブルが視野に。(48頁)

- 44 政治●情報カプセル
- 46 二階派改め「武田派」への暗闘——「派閥解散」で「自民党乱世」の幕開け
- 48 岸田主導「政局の始まり」
- 52 目指すは七夕「ダブル選挙」
- 52 連載(政界スキャンダル)派閥「偽装解散」後の自民党勢力図
- 54 黄昏・安倍派は「三分裂」へ
- 56 跡目なき「清和会」の終焉
- 56 それでも岸田の世は続く「倦怠政界」
- 58 裏金も震災も延命の「追い風」
- 58 連載(罪深きはこの官僚)河邊賢裕(外務省総領事政策局長)——上川陽子「暴走外遊」の太鼓持ち

- 60 能登地震で「無能」の電力会社
- 62 長期停電と原発事故の瀬戸際
- 62 金融庁とSBI「証券の醜い蜜月」
- 64 株価操作「大甘処分」の深層
- 64 米国株「強気相場」に御用心——「壮大な七銘柄」AIバブルの行方
- 67 連載(クロス・アップ)
- 喜勢陽一(「R」東日本次期社長——労組解体で出世した「安全の素人」)
- 68 連載(企業研究)富士通
- 72 英国冤罪事件の「諸悪の根源」
- 72 三井物産「北極圏LNG」の落とし前——「血塗られたガス」でどう稼ぐか
- 74 経済●情報カプセル
- 78 連載(地方金融の研究)八十二銀行——長野銀行「解体処理」の冷酷
- 82 トヨタ章男「裸の王様」の奇怪言動——震災もダイハツも顧みぬ冷血漢
- 84 ENEOS「次期社長」は誰がやる
- 86 性暴力私拭く「お飾り」女性登用か
- 86 北越と大王「紙戦争」の新局面——井川家の主役は「大王海運」

凄まじい欠陥システムで数百もの英国人を地獄に落とす所業。子会社に責任を押し付ける様は、腐った政治家と同類だ。マイナンバーをはじめ、トラブルと不祥事が専門のIT企業。廃業した方が世のためだ。(68頁)

